

大分県医師会男女共同参画委員会の歩み

(前) 大分県医師会男女共同参画委員会委員長

(現) 大分県医師会男女共同参画委員会顧問

谷 口 邦 子

2006年全国に設立された「女性医師の会」を大分県にも設立することになり、当時の嶋津義久県医師会長からの推薦で、準備から設立までに携わりました。

さらに設立した「大分県医師会女性医師の会」の会長にも推薦していただき、白紙の状態からの会長を引き受けることになりました。

まずは会員ですが、大分県医師会に入会している女性の医師に会員になってもらうことにしました。ほとんどが開業医の先生方でした。各郡市医師会の代表から推薦してもらって委員を任命しました。「JOYネット」という委員のメーリングリストも開設しました。

初めに現状を知るといことで女性医師にアンケート調査をしました。その結果は県の医師会報第770号に報告されています。主に出産・育児についての問題が多かったです。

また女性医師対象の研修会（事例の発表）や管理者向けの研修会も開催しました。若い女性医師がいる大学の学園祭などで研修会を開いたこともあります。

「九州ブロック会議」にも参加して各県の活動状況を聞き、参考にしました。

2011年に「男女共同参画委員会」と改名しました。女性医師の問題は女性医師の問題のみならず男性医師の協力がなくてはやっていけないとのことからです。全国的にもそういう風潮でした。さらに大学の先生にも委員になっていただき、若い先生がおられる大学で、保育園の設立、研修会、就職の窓口など様々な活動が始まり、会員の絆が深まりました。

大分県地域医療対策協議会にも参加させていただき、女性医師が抱えている問題は行政も一緒に取り組まないと難しいと思いました。実際大学の行っている活動にも協力していただけるようになりました。県下の研修病院にアンケート調査をし、大学の協力のもと、「大分県医師キャリアサポートブック」もでき上がりました。

2017年に「九州ブロック会議」を大分県で開催しました。そしてコロナで2年延期になった日本医師会主催の「男女共同参画フォーラム」の開催を本年2022年4月23日近藤稔県医師会長の下無事に終え、長くなった委員長の役を後輩に譲って頑張っていたいただくことにしました。

長い間一緒に活動してくださった諸先生、そしてサポートしてくださった医師会の職員の方に改めてお礼の言葉を申し上げます。

そしてまたこれからの「男女共同参画委員会」の活動により一層のご協力をいただくように大分県医師会の会員の先生方に改めてお願い致します。

最後に女性医師の出産・育児の問題のみならず、今後は介護の問題など幅広い視野での活動が必要となってくると思われます。皆様のご理解とご支援をお願い致します。